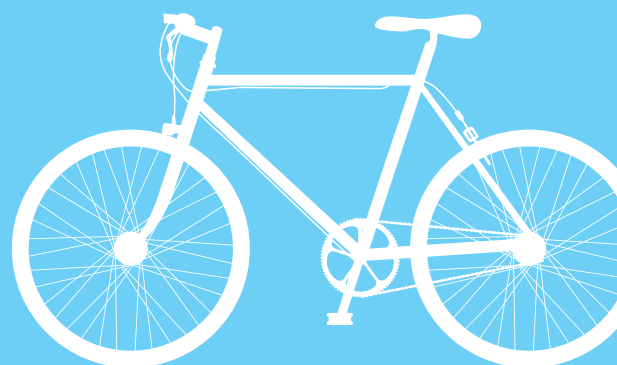




## 第1章 はじめに

- 1 ふじさわサイクルプラン策定の背景・目的
- 2 ふじさわサイクルプランの役割と位置付け
- 3 ふじさわサイクルプランの構成





## 1 ふじさわサイクルプラン策定の背景・目的

### 1-1 ふじさわサイクルプラン策定の背景

自転車利用については、自転車単体の機能向上や地球環境にやさしい交通手段、健康増進などの側面からも身近な足としての利用が進んでいます。

2008年(平成20年)には、自転車に関係する交通事故の多発や、自転車が無秩序に通行している実態などを踏まえ、自転車に関する道路交通法が改定されました。さらに、東日本大震災による都心部の交通が麻痺したことをきっかけに通勤などの足として見直され、自転車利用が増してきています。

それらに伴う形で、自転車のマナーと交通ルールの見直しの機運が高まり、2012年(平成24年)11月には、国土交通省道路局及び警察庁交通局を中心に「安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン」、「自転車等駐車場のあり方に関するガイドライン」が策定され、自転車は『車両』であり、車道の左側通行を基本とする自転車の利用環境づくりの統一化を進めていく動きがあります。

このようなことから、自転車利用に関する社会動向を見据えつつ、車道の左側通行を基本とする、藤沢市の自転車施策に関する総合的な計画となる「ふじさわサイクルプラン」を策定します。

### 1-2 ふじさわサイクルプラン策定の目的

藤沢市の自転車の快適な利用環境づくりをめざしていくため、以下の4点を目的として策定します。

#### ●都市交通 ～都市交通の役割を担える安心・安全な環境づくり～

藤沢市の都市交通手段の中で自転車交通は、約14%を占めています。自転車交通が都市交通手段の一つとしての役割を担える安心・安全な環境づくりに取り組む必要があります。

#### ●市民生活 ～市民生活を支える身近な交通手段の環境づくり～

自転車は、様々な目的で市民生活を支える身近な交通手段として利用されています。また、高齢社会の進展から、免許を返納した元気な高齢者の移動手段として自転車が担う役割も増してくると考えています。このような面からも、自転車を利用しやすい環境づくりを進めていく必要があります。

#### ●健康増進 ～自転車利用による健康増進の促進～

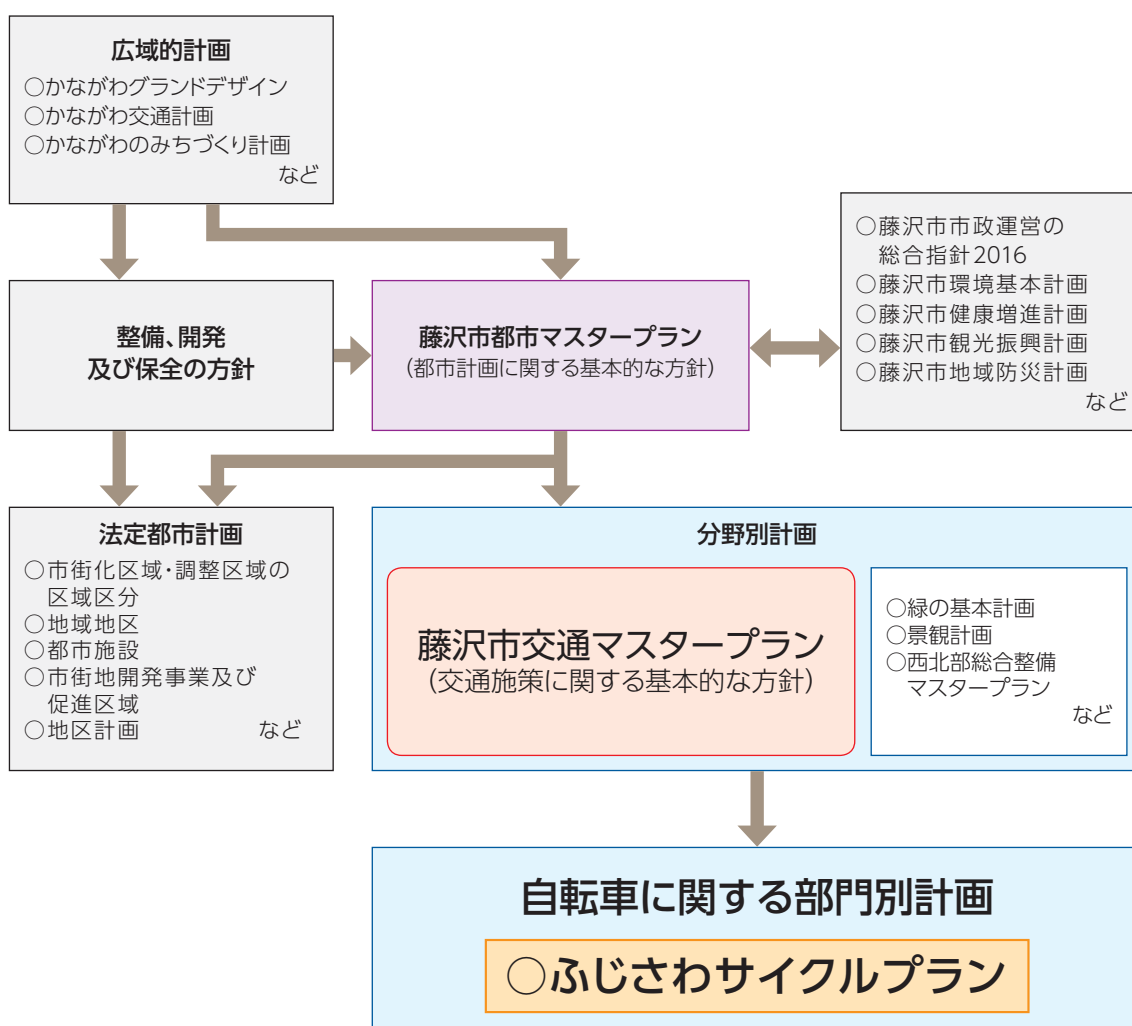
自転車をこぐという運動により、生活習慣病に由来する死亡率が低減するなど自転車利用と健康増進の関連性についての研究が進められています。自転車を利用しやすい環境づくりを進め、自転車利用を促進していくことで、市民の健康増進につながる効果も期待できます。

#### ●環境 ～環境にやさしい交通手段の環境づくり～

自転車は、二酸化炭素排出量がゼロという環境にやさしい交通手段となっています。環境面からも自転車を利用しやすい環境づくりを進め、過度な自動車利用から自転車利用に転換するなどによる低炭素型社会の構築に向けた都市づくりにつなげていく必要があります。

## 2 ふじさわサイクルプランの役割と位置付け

- 2-1 ふじさわサイクルプランは、「藤沢市交通マスタープラン」の自転車交通に関する分野別計画として、概ね2030年(平成42年)を見据えた自転車施策の方向性を示しています。
- 2-2 ふじさわサイクルプランは、藤沢市の自転車施策を総合的に展開していくうえで、基本的な指針となるものです。
- 2-3 ふじさわサイクルプランは、藤沢市交通マスタープランとの整合・連携を図りながら、自転車施策を展開していきます。



ふじさわサイクルプランの位置付け



### 3 ふじさわサイクルプランの構成

ふじさわサイクルプランは、以下の構成とします。

